

串間市農業振興基本計画

平成24年1月

串 間 市

はじめに

本市の農業は、中間畑地帯と沿海水田地帯において温暖な気象条件や地理的条件を生かし、食用甘藷をはじめ多種多様な農畜産物が生産され着実にブランド化が図られてきました。これは農業に従事されておられる方々をはじめ、各関係機関・団体のご尽力とご協力の賜であると深く感謝申し上げます。



さて、近年の農業を取り巻く環境は、農畜産物の輸入増加や長引く経済の低迷により農畜産物価格の低迷が続くとともに少子高齢化の進行により農業従事者の高齢化や担い手・後継者不足の中におきまして、11月に参加表明のありました TPP 問題により国内農業は大きく変化することが予想されるため、国際化に対応した足・腰の強い施策の展開が必要になってきております。

このような状況におきまして、国におきましては本年度より農業者戸別所得補償制度を本格的に実施いたしまして、戦略的作物を中心とした施策の展開が行われております。

本市におきましては、沿海水田地帯の水田におきましては早期水稻を中心に戦略作物の飼料稲・飼料米・緑飼料の導入や施設園芸、ごぼう、オクラ等の栽培により土地生産性の向上が図られております。

また、畑地帯におきましては食用甘藷を中心に畜産、果樹、茶等の土地利用型農業の展開が行われております。

このように本市の基幹産業であります農業の持続的な発展を図るため平成 18 年に「串間市農業振興基本計画」を策定し、農業振興に努めて参りましたが、今後の農政の展開に対応するため、今回見直しを行うものであります。

今回の見直しについては、「第5次串間市長期総合計画」を基本に足・腰の強い農業を展開するため9項目の施策の展開を掲げておりますが、特に、土地基盤の再区画整備の推進や担い手の確保を行うとともに集落営農の推進、戦略作物の畑地帯への導入を推進するとともに6次産業の取り組みにも積極的に支援する計画であります。

また、畑地帯の土地生産性の向上を図るため小水力発電を利用した畑地かんがい施設を導入して、より一層の生産振興を行い本市農業の振興を図る計画であります。

最後になりますが、本計画策定にあたり各関係機関・団体、各生産部会代表者の皆様の貴重な意見・提言等を賜りましたことに対しまして心からお礼申し上げます。

平成24年1月

串間市長 野 辺 修 光